

おおた生涯学習推進プラン 令和5年度取組状況報告

※本プラン以外の区の個別計画で進行管理を行う事業・取組については、計画の体系に位置付けますが、本プランにおける進行管理は行わず、各個別計画で進行管理を行います。

基本理念

学び つながり 地域力で 羽ばたくまち

趣味やサークル活動などの自発的な学びは、心の豊かさをもたらすだけでなく、新たな関心を育みます。

新たな関心が新たな学びにつながり、さらなる知的欲求の充足や生活の改善及び自己実現につながります。

学び合いを通じて相互に理解し認め合うことで、自己肯定感や幸福感、つながり意識などが生まれ、人と人との絆の強化や、コミュニティの形成につながります。

学びを通して生きがいを持った区民が増えること、また、学び合いを通じた地域のつながりが育まれることで、地域力が向上し、誰もが自分らしく心身共に健康に暮らし、新しい世界とつながることができるまちとなります。この目指すまちの姿を「羽ばたくまち」と表現しています。

また、区内では既に多くの主体が地域力を発揮し、特色ある資源を生かした豊かな学びの機会を提供しています。こうした地域力を生かした学びをさらに区民に身近なものとしていくことは、地域力をさらに向上させることにつながります。

基本目標

基本目標 1

個人の学びの充実

楽しむことで人生を豊かにすることのほか、教養を高めることや仕事や学業に役立てること、健康の維持、体力づくりを目的として生涯学習を行っている区民が多いことから、多様なニーズに応える学びの機会の充実に取り組みます。

学ぶことに関心のある区民が多い一方で、様々な理由により学びの場に参加できていない区民もいます。ICTの活用等により、ライフステージやライフスタイルに関わらず、学ぶ意欲のある区民誰もが学びやすい環境を整えます。

基本目標 2

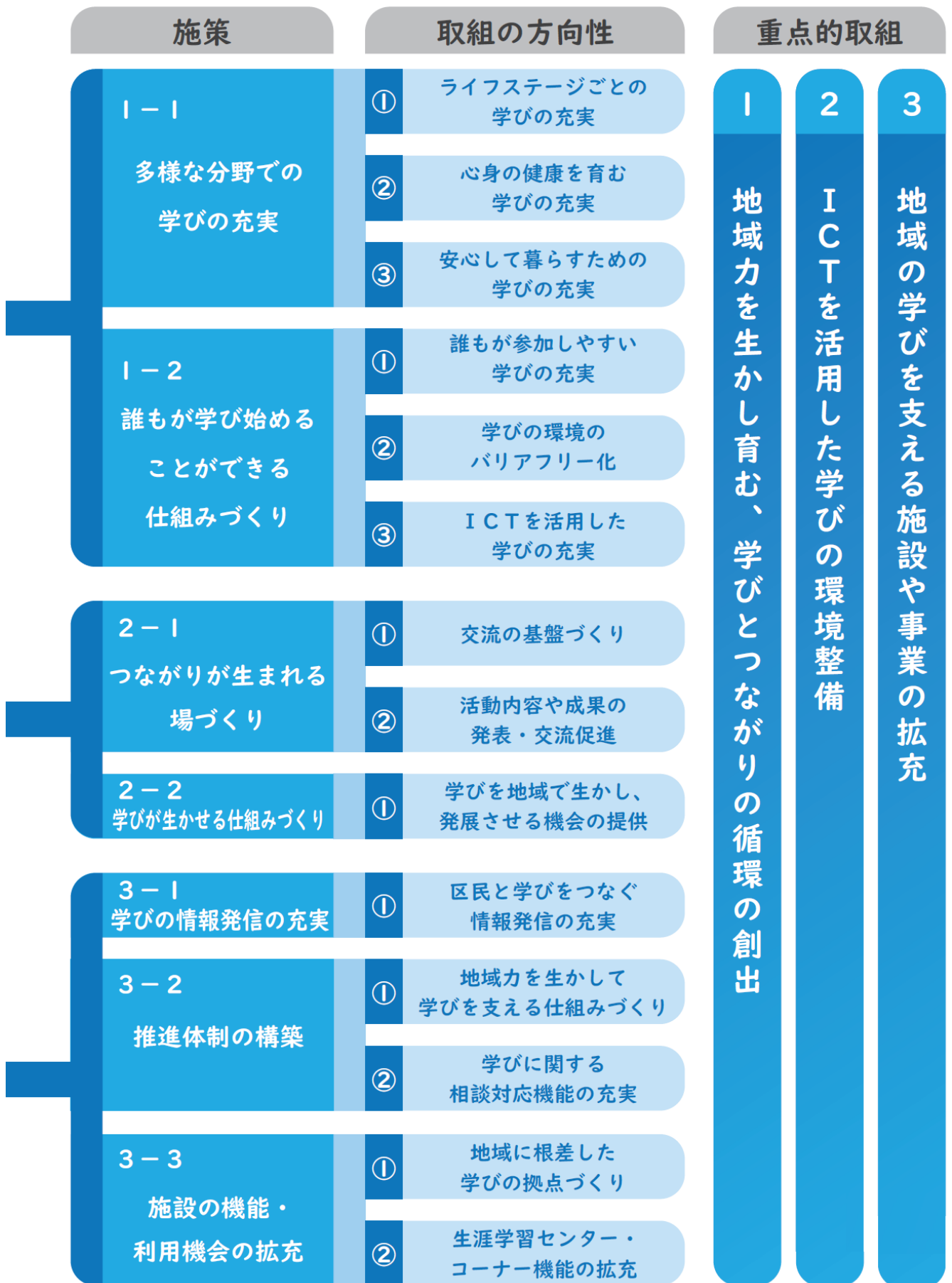
学びを通じたつながり・ 活用の場の創出

生涯学習を行う目的として、人生を豊かにするためや教養を高めるためと回答した区民が多い一方で、区が生涯学習を推進することで、地域における人と人のつながりが増えることが期待されています。学んだことを発表する機会や学びを通じて交流する機会を創出することで、個人の学びを深めるとともに、学びを通じたつながりを育み、地域の課題解決や活性化につなげます。

基本目標 3

地域の学びを支える環境整備

区は、多様な主体が特色ある区の資源を活用しながら学習機会を提供しています。また、区内には文化センターや区民センター、図書館など地域に根差した施設が全域に配置されています。こうした資源を最大限生かし、区民の学びを支援するため、多様な主体と連携しながら学習・活動環境を整備します。また、学習や活動機会の提供だけでなく、情報を体系化し可視化することで、学びたいことと学びの機会が繋がる情報の発信を行います。



基本目標Ⅰ 個人の学びの充実

楽しむことで人生を豊かにすることのほか、教養を高めることや仕事や学業に役立てること、健康の維持、体力づくりを目的として生涯学習を行っている区民が多いことから、多様なニーズに応える学びの機会の充実に取り組みます。

学ぶことに関心のある区民が多い一方で、様々な理由により学びの場に参加できていない区民もいます。ICTの活用等により、ライフステージやライフスタイルに関わらず、学ぶ意欲のある区民誰もが学びやすい環境を整えます。

注目標	生涯学習の実行状況（過去1年間の生涯学習実行状況）			
	令和3年度実績値 （直近値）	55.4%	目標	
	令和4年度実績値 （直近値）	23.3%	達成状況	
	令和5年度実績値 （直近値）	31.7%	達成状況	
	オンラインでの生涯学習経験（オンラインで生涯学習を行ったことがある人の割合）			
	令和3年度実績値 （直近値）	40.8%	目標	
	令和4年度実績値 （直近値）	51.6%	達成状況	
	令和5年度実績値 （直近値）	35.3%	達成状況	

施策Ⅰ-Ⅰ 多様な分野での学びの充実		
内容	価値観やライフスタイルが多様化する中、区民には幅広い分野において潜在的な学びのニーズがあります。このため、あらゆる世代の区民が、ライフステージや関心に応じて学習を選択できるよう、多様な学習提供主体と連携しながら学びの機会の充実に取り組みます。	
取組の方向性	①ライフステージごとの学びの充実 ②心身の健康を育む学びの充実 ③安心して暮らすための学びの充実	
関係する主な事業取組状況 (人数：延べ参加者数)	ユネスコ活動	
	内容	「ユネスコ憲章」及び「ユネスコ活動に関する法律」第4条に基づき、ユネスコ活動の目標を達成するため、地域の特性に応じた講演会や写真展を大田ユネスコ協会と共催します。
	実績	講演会2回（80人）、写真展3回を大田ユネスコ協会と共催しました。 [前年度]講演会2回（85人）、写真展3回
	消費者講座（親子講座）	
内容	小学生とその保護者を対象に、消費生活にかかる諸問題や環境資源・	

関係する主な 事業取組状況 (人数：延べ参加者数)		エネルギー、食育などについて、工作や料理などの体験と親子の触れ合いを通じて学ぶ機会を提供します。
	実績	親子で参加できる講座を1回(18人)開催しました。 [前年度]1回(21人)
	生活展	
	内容	消費者問題を柱として、環境、防災、リサイクル等幅広い問題に関する展示、発表、講座等を行います。
	実績	1回(1日間)区内の消費者団体と共催し、1,770人の来場者がありました。 [前年度]1回(1日間) Web開催と消費者講座を実施 第50回の記念となり4年ぶりに会場開催で実施しました。開会セレモニー及び消費者団体展示コーナー、協賛団体コーナー、消費者講座、ステージでのイベントなどを行いました。
	特殊詐欺等防止のための啓発活動の推進	
	内容	特殊詐欺や消費者トラブル等の被害に遭わないように、防災危機管理課、高齢福祉課と連携し、具体的な手口やその防止策等について啓発活動を行います。
	実績	特殊詐欺や消費者被害撲滅に向けた講座を1回(230人)、特殊詐欺に関するDVD上映を96回(1,447人)開催しました。 [前年度] 高齢者を対象とした講座を1回(200人)、特殊詐欺に関するDVD上映を126回(1,232人)開催しました。
	深める・つながる講座 ※旧：おおた区民大学	
	内容	地域社会に密着した課題など幅広いテーマについて学ぶ機会を提供します。区内の大学や専門学校との提携による専門性の高い講座や、区民参画の企画講座などにより区内の特色ある資源を活用しながら、区民の多様な学習意欲に応えます。また、他の学習者との学び合いにより、学びを深めながら地域への愛着を育みます。
	実績	生涯学習入門、現代的課題、地域づくりなどをテーマに、公募企画員による企画講座や区内大学等との提携講座など67回(967人)開催しました。 [前年度]85回(1201人)
	学びのきっかけ講座 ※令和5年度新規事業	
	内容	これまで「生涯学習」、「学び」に親しみがなかった区民の参加を促し、学びの裾野を広げることを目的として、気軽に参加できる講座を拡充しました。
	実績	日々の暮らしに役立つ講座4講座(睡眠・片づけ・プレゼン・節約/令和6年5月17日時点視聴回数計736回)を生涯学習ウェブサイトでもオンデマンド配信しています。 また、親子で参加できる「ものづくり講座」1講座(18人)実施しました。
	生活学校による事業実施	
内容	地域社会や生活に関わる諸課題をテーマに課題解決を目指す運動を行っている生活学校に委託し、地域に根差した学習機会を提供します。	

	実績	暮らしに関する講座等を生活学校に委託し、9回（200人）開催しました。また、生活学校と合同研修を1回（36人）共催しました。 [前年度]委託事業12回（207人）、合同研修1回（27人）
定性評価・ 今後の方向性		<ul style="list-style-type: none"> ● 【学びのきっかけ講座（親子用ワークショップ）】参加者の9割近くが初めて区の生涯学習講座に参加したと回答しました。講座では生涯学習情報誌を配布し、他にも様々な講座があることを周知しました。 ● 【深める・つながる講座（入門講座）】多くの参加者が本講座について「日常の事柄について真剣に考え合えたのがよかった」、「話すことで気持ちがおほぐれる（セラピー効果がある）」、「聴くことで自分の考えが発展する」と語っており、他者と対話することの効果や楽しさを本講座で感じ、それを継続したいとの思いでフォローアップに参加した人が多くいました。フォローアップ参加者の中から自主的なグループも生まれています。 ● 【深める・つながる講座（じんけんカフェ）】ある参加者の感想「初めて講座に参加し、大変勉強になった。他人事ではなく、自分自身も当事者であるということに認識した。」にあるように、講座を通じて学んだことを自分事として捉え、区民が自主的に学び続けるきっかけとなったと考えられます。 ● 【深める・つながる講座（若者企画講座）】ある企画員は、講座について「自分の意見を最後まで聞いてもらい、なぜそう考えるのかを互いに聞き合える関係が、日常生活の中では持ちにくい、それができる関係性をつくることができた。」と語っていました。世代も価値観も違う他者と出会い、話し合う場をどのように継続できるか参加者同士が話し合い、文化センター等を会場として、活動を続けることとなりました。 <ul style="list-style-type: none"> ➤ これまで学びの場に参加したことがない区民から、学びを深め地域で交流・活動する場を求める区民まで、様々な学びの段階・ニーズに応じた講座を開催することで、区民の学びのきっかけと継続を支援することができました。 ➤ 今後も区民の主体的な学びを支援するため、各個人の課題及び社会的な課題に関する学習機会を提供し、より多くの区民が学びの場に参加できるよう工夫していく必要があります。

施策 1-2 誰もが学び始めることができる仕組みづくり

<p>内容</p>	<p>区民の学ぶことへの意欲は高い一方で、様々な障壁により意欲があっても実行できていない方がいます。このため、学ぶ意欲のある区民の誰もが学び始められるよう、学びへのアクセスが困難な方を対象とした機会の提供や、ICTを活用した学習・活動機会の提供、保育環境の整備、外国人区民・障がいのある方へのサポート等、学びやすい環境を整えます。</p>	
<p>取組の方向性</p>	<p>①誰もが参加しやすい学びの充実 ②学びの環境のバリアフリー化 ③ICTを活用した学びの充実</p>	
<p>関係する主な事業取組状況 (人数：延べ参加者数)</p>	<p>まなびバ</p>	
	<p>内容</p>	<p>日本語の読み書きに不自由を感じている区民や、学び直しを必要としている区民を対象に、ひらがな、カタカナ、日常生活に必要な簡単な文などの文字の読み書きや国語、算数など基礎的な学習の場を提供します。</p>
	<p>実績</p>	<p>1年を通して24回(44人)開催しました。このほか自主学習会を2回行うことで受講者の継続的な学習を支援しました。 [前年度]24回(35人)</p>
	<p>保育付き事業</p>	
	<p>内容</p>	<p>乳幼児の保護者が学習や地域活動に参加できるように、講座等を保育付きで実施します。</p>
	<p>実績</p>	<p>主に高齢者の参加が多く見込まれる講座を除くすべての生涯学習講座に保育室を併設しました。 保育利用回数15回(19人) [前年度]保育利用回数31回(73人)</p>
	<p>ICTを活用した学びの充実</p>	
	<p>内容</p>	<p>区民が学びたいときに自宅等から気軽に学ぶことができるよう、区や関連団体が実施する講座等のオンライン配信を拡充します。</p>
	<p>実績</p>	<p>深める・つながる講座1講座、気軽に視聴できる講座7講座(学びのきっかけ講座4講座を含む)を生涯学習ウェブサイトオンデマンド配信しました(令和6年5月17日時点視聴回数計1531回)。 [前年度]オンデマンド配信3講座</p>
	<p>ICTリテラシー向上のための地域支援事業</p>	
<p>内容</p>	<p>スマートフォンの簡単な操作方法やオンライン会議の体験等、ICTスキルを習得する機会を提供し、ICT機器を利用できる人とできない人の間に生じる格差(デジタルデバイド)の解消に努めます。</p>	
<p>実績</p>	<p>スマホ初心者向け講座からオンライン会議講座まで、レベルを3段階に分け、24回(378人)開催しました。 [前年度]27回(346人)</p>	
<p>定性評価・今後の方向性</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●【まなびバ】大人の暮らしのなかで必要な学びの場として、一人ひとりの学習者に向き合い、学習者に合わせた教材を作りながら一緒に学んでいます。書くのを嫌がっていた人が、スタッフとおしゃべりをしているうちに自分の 	

ことを文章にしてみる気になったことがありました。何年にも渡って携わるスタッフやボランティアに支えられています。

- 【ICTリテラシー向上のための地域支援事業】40代から90代の区民が参加し、「実際に体験するのは大切」、「これからもこのような講座に参加したい」等の感想が複数あり、ICTスキルを習得するきっかけを提供することができました。
- 日本語の読み書きに不自由を感じている、ICTに苦手意識を持っている、参集型の講座に参加が難しい等、学びに対するハードルがある区民を対象とした主体的な学びの支援を継続していく必要があります。
- 生きづらさや困難を抱える区民が参加しやすい学びの形態や内容についてニーズを把握し拡充していくとともに、学びの場を支えるスタッフやボランティアの輪を広げていく必要があります。

基本目標 2 学びを通じたつながり・活用の場の創出

生涯学習を行う目的として、人生を豊かにするためや教養を高めるためと回答した区民が多い一方で、区が生涯学習を推進することで、地域における人と人のつながりが増えることが期待されています。

学んだことを発表する機会や学びを通じて交流する機会を創出することで、個人の学びを深めるとともに、学びを通じたつながりを育み、地域の課題解決や活性化につなげます。

注目標	生涯学習を通じた人とのつながりづくり・地域での活動状況（生涯学習を通じて身に付けた知識・技能・経験を「知人や仲間ができている」と回答した人の割合）			
	令和3年度実績値 （直近値）	27%	目標	
	令和4年度実績値 （直近値）	22%	達成状況	
	令和5年度実績値 （直近値）	27.5%	達成状況	
	生涯学習を通じた人とのつながりづくり・地域での活動状況（生涯学習を通じて身に付けた知識・技能・経験を「地域や社会での活動に生かしている」と回答した人の割合）			
	令和3年度実績値 （直近値）	9.3%	目標	
	令和4年度実績値 （直近値）	6%	達成状況	
	令和5年度実績値 （直近値）	9.8%	達成状況	
	社会教育関係団体の交流状況（地域の他団体と交流した経験が「ある」と回答した社会教育関係団体の割合）			
	令和3年度実績値 （直近値）	52.4%	目標	
	令和4年度実績値 （直近値）	アンケート未実施		
	令和5年度実績値 （直近値）	50.6%	達成状況	

施策 2-1 つながりが生まれる場づくり

内容	生涯学習によって人と人のつながりが増えることが期待されていることから、学んだことを自分の更なる学びにつなげるだけでなく、他者と共有することによって深めることや、学びをツールとしたつながりづくりをサポートします。
取組の方向性	①交流の基盤づくり ②活動内容や成果の発表・交流促進
	大田区生涯学習ボランティア制度

関係する主な 事業取組状況 (人数：延べ参加者数)	内容	これまでの経験によって培った知識・技術を地域に役立てたいと考える個人や団体のボランティア登録を行う制度です。講師や運営のサポーターを探している方に、登録されているボランティアの情報を紹介することで、教えたい人と学びたい人をつなげます。
	実績	登録者数 59 人 (R6.3.31 時点)、紹介件数 2 件 [前年度]登録者数 45 人 (R5.3.31 時点)、紹介件数 6 件
	社会教育関係団体・少年育成団体登録制度	
	内容	学習・文化・スポーツなど、社会教育に関する活動を目的とした団体と青少年の健全育成に資する活動を目的とした団体を登録する制度です。団体の主体的な活動を支援することで、他団体や区民、地域とつながるきっかけをつくります。
関係する主な 事業取組状況 (人数：延べ参加者数)	実績	令和 5 年度は登録の一斉更新を行い、団体の活動内容や連絡先を生涯学習ウェブサイト「おおたまなびの森」に掲載し、区民や他の団体が団体の情報にアクセスしやすいようにしました。 1,807 団体 (R6.3.31 時点)、紹介件数 740 件 [前年度]1,997 団体 (R5.3.31 時点)、紹介件数 767 件
	生涯学習のつどい	
	内容	学びを生かした活動の実践例を展示・発表することで、学びの深め方や、学びをきっかけとしたつながりづくりについて知り、考える場を提供します。
	実績	生涯学習事業を報告するパネル展示と、生涯学習相談会を NPO・区民活動フォーラムと同時開催し、広く学習情報や地域活動情報を紹介しました。来場者 146 人 相談件数 6 件 [前年度] 来場者 118 人 相談件数 11 件
関係する主な 事業取組状況 (人数：延べ参加者数)	NPO・区民活動フォーラム	
	内容	区内で活動する区民活動団体や NPO などの実践的な取組を、体験コーナーや展示、お楽しみショー、模擬店などを通じて発表する場を提供します。地域で活動する楽しさややりがいを PR し、活動に向けた意識啓発を行います。
	実績	38 団体が出展し、約 1,000 名が来場しました。 [前年度]1 回 (2 日間)、出展 29 団体、来場者約 700 名
定性評価・ 今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ● 【社会教育関係団体・少年育成団体登録制度】定期的に文化センターを訪問する社会教育指導員が、団体から活動状況をヒアリングし、広報先を紹介したり、体験会を開催したりしたところ、新規の入会があった事例が複数ありました。社会教育関係団体に加入している区民等はおよそ 3 万人ですが、まだ地域にこのような活動の場があることを知らない区民も多いため、引き続き認知度を向上させるための取組を行います。 ● 【生涯学習のつどい】生涯学習の事業を紹介する展示や来場者に興味がある学びについて貼りだしてもらうことで、来場者と交流し、生涯学習に関わる理解を深めました。ウェブサイト等での広報と合わせてこのような直接の働きかけも継続していく必要があります。 	

	<p>➤ 社会教育関係団体のおよそ60%は、文化センターを中心に活動しています。令和5年度から社会教育指導員が定期的に文化センターを訪問し、団体から相談やヒアリングを行うことで、一部の団体の活動状況や悩み事を把握することはできましたが、つながりづくりを支援するという観点では、団体の活動の場で日常的に相談に応じることができる必要があります。</p>
--	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

施策 2-2 学びが生かせる仕組みづくり		
内容	<p>学びの成果を地域での活動等に生かすことは、自己有用感やさらなる活動に対する意欲を育むとともに、課題解決のための新たな学びを求めるといった持続的な学びと活動の循環につながります。</p> <p>学びによって得た知識や経験、ノウハウを地域課題の解決に生かしたいという区民や団体に対し、スキルアップのための機会の提供、地域とつながるきっかけづくりや活動の支援を行うことで、従前から地域で活動している区民や団体に加え、新たな担い手が参加しやすい機運を醸成します。</p>	
取組の方向性	① 学びを地域で生かし、発展させる機会の提供	
関係する主な事業取組状況 (人数：延べ参加者数)	協働による魅力あるまちづくり※令和5年度新規事業	
	内容	自治会・町会やNPOなどの団体が、属する地域内で他の団体と連携・協働する場のきっかけづくりをするなど、地域コミュニティの新たな担い手となるヒントを探ります。
	実績	<p>久が原地域の子育て世代を中心に、自治会・町会に対するイメージや地域活動参加状況を把握するためのアンケートを実施しました。</p> <p>回答 257 件（回答率 7.8%）配布数 3,289 件</p> <p>地域活動団体や地域住民との交流を深め、顔の見える関係をつくることを目的とした交流会を実施し、28 名の方が参加しました。</p>
	区民プロデュース講座（個人）	
	内容	大田区生涯学習ボランティアがこれまでの経験や知識を活動に生かせるよう、区民向け講座の企画・運営の場を提供し、大田区生涯学習ボランティアのスキルアップの支援を行います。
	実績	<p>文化センター等を会場として 12 回（193 人）開催し、地域の身近な施設で学ぶきっかけをつくとともに、大田区生涯学習ボランティアに実践の場を提供しました。</p> <p>[前年度]6 回（116 人）</p>
	生涯学習人材育成講座	
	内容	区民の主体的な学習活動の推進役となる人材を育成するため、社会教育・生涯学習の基礎について学ぶ機会や地域とのつながりを築く機会を提供します。
	実績	<p>12 回（34 人）開催し、14 人が新たに生涯学習相談員となりました。</p> <p>[前年度]12 回（39 人）開催し、14 人が新たに生涯学習相談員となりました。</p>
	生涯学習相談員の支援	
内容	生涯学習人材育成講座修了者が生涯学習相談員として、区民からの生涯学習に関する相談対応等を通じて、地域課題を把握しながら地域とのつながりを構築できるよう支援します。	
実績	生涯学習相談員 26 人に対し、研修会 3 回を開催しスキルアップを行いました。大田区生涯学習ボランティアとの交流を深めるため、生涯学習人材交流会を 1 回（47 人）開催しました。	

関係する主な 事業取組状況 (人数：延べ参加者数)		[前年度] 生涯学習相談員 19 人、研修会 3 回、交流会 1 回 (48 人)
	災害ボランティアの育成・支援	
	内容	災害時に備えるため、被災地ボランティア未経験者を含めた講座を実施し、災害ボランティアの育成及び被災地ボランティアの区民活動への参加を促します。
	実績	災害ボランティアのリーダーとなり得る人材の育成及び活動の支援を目的とし、防災塾 1 回 (71 人)、災害ボランティアリーダー育成講座 1 回 (35 人)、ボラセン・サテライト・プロジェクト 10 回 (104 人) を開催しました。 [前年度]防災塾 4 回 (62 人)、災害ボランティアリーダー育成講座 1 回 (21 人)、ボラセン・サテライト・プロジェクト 11 回 (95 人)
	区民プロデュース講座 (団体)	
	内容	大田区社会教育関係団体が自主的に地域で活動を展開できるよう大田区社会教育関係団体による区民向け講座の企画・運営支援を行います。
	実績	文化センター等において 3 団体が 6 回 (74 人) の講座を実施し、これらを通じ団体に新規加入した参加者が複数いました。 [前年度] 1 団体 4 回 (109 人)
	区民活動コーディネーター養成講座	
	内容	自治会・町会に加え、専門性を持つ団体、NPO や事業者など、地域での連携・協働を推進するため「つなぎ役」となる人材を育成します。
	実績	区や区民活動団体等と協働して地域課題の解決を図ることのできる人材の育成を目的とし、区民活動コーディネーター養成講座修了生向けに、学び直し・スキルアップの場となる講座 3 回 (29 人) を実施しました。また、講座での学びを活かし、実践的な経験を積む「ワールドカフェ (対話型交流)」2 回 (18 人) を開催しました。 [前年度]区民活動コーディネーター養成講座 6 回 (8 人)、区民活動コーディネーター (つなぎ役) 交流会 1 回 (23 人)
定性評価・ 今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ● 【区民プロデュース講座 (個人・団体)】 講座を実施した団体が自主的に図書館と連携して講座を行った事例もありました。文化センターで実施した講座の参加者の中には、初めて訪れたという人も多く、身近に学ぶことができる施設があると認識されることにもつながりました。 ● 【生涯学習相談員の支援】 生涯学習相談会での事例研究のほか、チームに分かれ、地域でどのような調査研究や学習会ができるか考えました。また、地域で生涯学習を推進していく仲間としてのつながりをつくる場として、生涯学習ボランティアと相談員の交流会を開催し、具体的な協力につながった事例がありました。 <p>➤ 文化センターにおいて社会教育指導員が、相談会や講座を実施することで、団体・ボランティア等に実践の場を提供することができました。地域で生涯学習を推進する人材の発掘・育成及び新たな連携・協力につながるコーディネート機能を十分果たすためには、地域の学びの場の拡充が求められます。</p>	

基本目標 3 地域の学びを支える環境整備

区は、多様な主体が特色ある区の資源を活用しながら学習機会を提供しています。また、区内には文化センターや区民センター、図書館など地域に根差した施設が全域に配置されています。

こうした資源を最大限生かし、区民の学びを支援するため、多様な主体と連携しながら学習・活動環境を整備します。また、学習や活動機会の提供だけでなく、情報を体系化し可視化することで、学びたいことと学びの機会がつながる情報の発信を行います。

注目指標	大田区生涯学習ウェブサイト閲覧数			
	令和3年度実績値 (直近値)	なし(構築前)	目標	
	令和4年度実績値 (直近値)	3,420PV/月	達成状況	
	令和5年度実績値 (直近値)	19,538PV/月	達成状況	
	生涯学習相談件数			
	令和2年度実績値 (直近値)	3,276件	目標	
	令和4年度実績値 (直近値)	2,533件	達成状況	
	令和5年度実績値 (直近値)	3,042件	達成状況	

施策 3-1 学びの情報発信の充実		
内容	各主体別に提供している様々な学習情報を体系化し、区民の学びたいことと学びの機会がつながる情報発信を行うことで、生涯学習を始めるきっかけをつくります。「生涯学習」という言葉を認識していない区民であっても、必要な情報にたどり着きやすくなるような工夫をします。	
取組の方向性	① 区民と学びをつなぐ情報発信の充実	
関係する主な事業取組状況 (人数:延べ参加者数)	生涯学習ガイド「おおたまなびの森」	
	内容	生涯学習を行うきっかけづくりを目的とし、区内で行われている講座・講演・催し物などを掲載します。希望する社会教育関係団体の情報も掲載しています。
	実績	4回 各1,200部発行
	おおた地域力発見ガイド	
	内容	地域活動を始めたい人や既に地域活動に携わっている人向けに、区内で行われている地域活動や、地域参加・地域活動を応援する事業を集約・掲載します。
実績	1回 2,600部発行	

関係する主な 事業取組状況 (人数：延べ参加者数)	生涯学習ウェブサイトの運用	
	内容	区内の生涯学習に関する情報を一元的にわかりやすく発信するウェブサイトを活用し、区民の学習や活動のきっかけづくりを支援します。またサイトを通じて、各種講座をオンライン受講できるよう整備します。
	実績	令和5年1月に開設したウェブサイトを活用し、年間およそ400件の講座・イベント等を掲載しました。庁内の各部局が実施する講座事業、意識啓発事業のほか、区内の教育機関等が区民を対象として行う事業等も掲載しています。 閲覧数 234,459PV/年 (19,538PV/月) [前年度] 3,420PV/月
	大田区区民活動情報サイト「オーちゃんネット」	
内容	大田区におけるさまざまな区民活動団体（自治会・町会、NPO法人、任意団体、社会教育関係団体等）の活動内容やイベントなどの情報を発信します。	
実績	登録団体 667 団体、アクセス件数 90,821 件、 閲覧数 252,546PV/年 [前年度]登録団体 812 団体、アクセス件数 71,815 件、 閲覧数 187,262PV/年	
定性評価・ 今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ● 【生涯学習ウェブサイトの運用】令和5年度は、延べ約67,000人（アクティブユーザー）に利用されており、ウェブサイトから、複数の講座に申し込みをしていた事例も見られました。 ➤ より多くの区民に活用されるよう、引き続き、SNSや講座等においてウェブサイトの周知をするとともに、コンテンツの充実に向け、より多くの情報が集まるよう庁内に呼びかけを継続します。 ➤ 「オーちゃんネット」との連携を強化し、区民が必要な情報によりアクセスしやすくなるよう工夫します。 ➤ 充実してきたオンライン講座のコンテンツがさらに活用されるよう、検索の利便性向上を図ります。 	

施策 3-2 推進体制の構築		
内容	区民が学びを通じて個人の人生を豊かにするとともに、豊かな人と人とのつながりを構築することで地域力を向上させるためには、それを支える様々な主体との連携が求められます。市内の関係部局はもちろん、学校、地域、関係機関や専門職等と積極的に連携・交流することで、区が有する特色ある資源を結集し、地域力を生かした生涯学習施策を推進します。	
取組の方向性	①地域力を生かして学びを支える仕組みづくり ②学びに関する相談対応機能の充実	
関係する主な事業取組状況 (人数：延べ参加者数)	生涯学習の推進に係るネットワークの構築	
	内容	区内で生涯学習の推進に関わる多様な主体と連携・情報共有する場を設け、地域特性や各主体の専門性を生かした学習・活動機会を拡充します。
	実績	大田区における生涯学習の推進について広く意見を求め、生涯学習の推進に関わる多様な主体と連携・協働し、「おおた生涯学習推進プラン」で掲げた基本理念を実現するため、「おおた生涯学習推進プラン」推進会議を設置しました。 開催回数 3回
	関係部局との連携・協働の推進	
	内容	生涯学習に関連する施設、学校のみならず、それぞれの行政課題に沿った学習機会を提供している市内の部局と、区が目指す生涯学習のあり方を共有し、生涯学習推進に係る課題を解決していくため、横断的な連携体制を強化します。
	実績	生涯学習の機会を提供している部局と横断的に連携し、「おおた生涯学習推進プラン」を円滑かつ効果的に推進するため、「おおた生涯学習推進プラン」推進市内検討委員会を設置しました。 開催回数 1回
	生涯学習相談	
	内容	区内の様々な機関や団体が行う講座・イベント、活動等の情報提供や学びに関する相談対応を行います。区内の豊富な学びの資源と学ぶ意欲のある区民をつなげることで、区民の主体的な学びを支援します。生涯学習センター蒲田のほか、区民に身近な区施設等においても相談会を開催します。
	実績	相談件数 3,042 件、相談会 39 回 (132 件) [前年度]相談件数 2,533 件、相談会 32 回 (76 件) 令和5年度から、生涯学習センター蒲田各地域の文化センターにおいて相談会を定期的を実施しました。 地域での相談会回数 25 回 相談件数 71 件 [前年度]地域での相談会回数 4 回 相談件数 12 件
	学びに関する相談対応機能の充実	
内容	区内の豊富な学びに関わる資源と学ぶ意欲のある区民をつなげ、地域での学びを一層活性化するため、学びに関する相談・コーディネート機能のあり方について、実践的に検討します。また、個別の学びに関	

		する相談やニーズを分析し、改善していくための取組も試行的に実施します。
	実績	生涯学習ウェブサイトからの相談の受け付けを開始しました。 「おおた生涯学習推進プラン」推進会議において、学びに関する相談・コーディネート機能について、地域の施設における実践に向けて検討を進めています。
定性評価・ 今後の方向性		<ul style="list-style-type: none"> ● 【関係部局との連携・協働の推進】地域の学びの場を考えるワークショップへの参加を地域福祉コーディネーターや図書館職員に呼びかけたところ、複数の参加があり、学びの場について意見交換をすることができました。 ● 【生涯学習相談】生涯学習センター蒲田や文化センターで定期的に相談会を実施したり、電話や窓口で相談を受けたりすることで、多様な学びのニーズを把握することができるとともに、団体への入会や講座の参加など具体的な活動につなげることができました。 <p>➤ 「『生涯学習相談会』は何を相談できるのかわかりづらい」、「名称がわかりづらい」という意見もあるため、区民にわかりやすい名称を検討します。</p>

施策 3-3 施設の機能・利用機会の拡充

内容	区民に最も身近な生涯学習に関連する施設における情報や場の提供、学びを通じた人や地域とのつながりづくりを支援する機能等を拡充し、区民が身近な施設で気軽に学び、活動できる環境を整備します。	
取組の方向性	①地域に根差した学びの拠点づくり ② 生涯学習センター・コーナー機能の拡充	
関係する主な事業取組状況 (人数：延べ参加者数)	区民に身近な施設を活用した生涯学習の推進	
	内容	集会施設（文化センター・区民センター等）、図書館等の機能や使い方を区民にわかりやすく発信するとともに、区民の身近な生涯学習の場としてさらに活用されるよう拡充・整備を進めます。また、これから整備を進める複合施設は、生涯学習に関する情報発信の場や学びを通じて人が集まり、つながりを育む拠点としても活用していきます。
	実績	区立図書館5館（前年度と合わせて10館）に生涯学習専用ラックを設置し、生涯学習事業に係る情報を発信しました。
	区民活動支援施設（こらば大森・mics おおた）	
	内容	福祉、環境、まちづくりなどの地域の社会的活動や公益性のある活動を行う団体に対して、情報の提供、相談及び助言を行うとともに、活動の場所を提供します。
	実績	区民活動団体に対して、会議や活動の場の提供、助成金等の情報提供、団体運営や活動の相談支援、団体のスキルアップを目的とした講座を実施しました。
	生涯学習センター・コーナー機能の拡充	
	内容	学びたいことが明確になっていない区民も含め、区民の学び始めを支援するための生涯学習情報の提供、相談等の機能を有する「生涯学習コーナー」と、生涯学習情報の提供、相談等の機能に加えて、区内全域に渡る人材や施設に関する情報の集約、コーディネート機能、及び活動や交流のためのスペースを提供する「生涯学習センター」のあり方を検討します。
実績	生涯学習センター・コーナーを含む地域の学びの場のあり方について、「おおた生涯学習推進プラン」推進会議及び区民参加によるワークショップにおいて検討しました。	
定性評価・今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ● 【区民に身近な施設を活用した生涯学習の推進】ラックを設置した図書館の一部において生涯学習情報誌の配布部数が増加したことから、図書館の利用者に生涯学習の情報が届きやすくなっていると考えられます。 生涯学習コーナーを設置した新蒲田区民活動施設とも連携し、生涯学習の情報発信を継続しています。 ➤ より多くの区民が生涯学習を認識し、学びの場に参加することができるよう、より多くの施設において生涯学習の情報発信を行います。 ➤ 令和6年度、新たに開設する「大森北四丁目複合施設」にもラックを設置し、生涯学習の情報発信を行います。 	

重点的取組

Ⅰ 地域力を生かし育む、学びとつながりの循環の創出	
内容	<p>区は、羽田空港やものづくり等、全国的にも知名度の高い資源のほか、自治会・町会活動が盛んであること、多様な教育機関が存在すること、スポーツや文化活動が活発であること等、生涯を通じて学ぶための豊富な資源に恵まれているといえます。それらの資源（主体）との連携・協働を強化し、区内の学びに関する情報を集約・分析や改善をしながら、多様化する区民の学習・活動ニーズに応えていくことは、地域力を生かした学びの機会充実につながります。地域力を生かした豊かな学びを通じて、つながりや地域に対する愛着を育み、地域での活動を側面的に支援することで、さらなる地域力の向上につなげます。</p>
重点事業	<p>1-1-③ 深める・つながる講座（旧おおた区民大学） 2-2-① 区民活動コーディネーター養成講座 3-2-① 生涯学習の推進に係るネットワークの構築 3-2-② 生涯学習相談</p>
定性評価・今後の方向性	<p>深める・つながる講座をはじめとする各講座では、大学、地域の団体、博物館、図書館等地域の資源と連携し、地域の歴史や魅力を再発見し、それらを通してつながりを育む機会を創出しました。プランに基づくあり方検討のためのワークショップには、区民のほか、図書館の職員や福祉のコーディネーター等が参加し、地域の学びの場について意見交換を行いました。学ぶ意欲のある区民と、地域の学びの資源をつなげることができるよう、より多くの資源との関係を構築するとともに、既存の連携の強化に努めます。</p>

重点的取組

2 ICTを活用した学びの環境整備	
内容	<p>ICT等の高度化により、時間的、空間的な制約を超えた学びの機会を提供することが可能となっています。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、オンラインによる学習や交流等、ICTを活用した学びやつながりへのニーズが顕在化しています。ICTを活用した学びに関する情報の発信や学習環境の整備を進めることで、学ぶ意欲があっても、時間的制約等から実行することができていない人たちに対しても、学びやつながりづくりの機会を拡充します。</p> <p>ICTを活用した学びの環境整備と並行して、ICT機器を活用できる人とできない人の間に生じる格差（デジタルデバイド）の解消にも努めます。</p>
重点事業	<p>1-2-③ ICTを活用した学びの充実</p> <p>1-2-③ ICTリテラシー向上のための地域支援事業</p> <p>3-1-① 生涯学習ウェブサイトの運用</p>
定性評価・今後の方向性	<p>自宅等からいつでも視聴できるオンライン講座を生涯学習ウェブサイトに拡充したほか、講座、社会教育関係団体、生涯学習ボランティア等、生涯学習に関わる情報を一元化したところ、サイトの閲覧数、ユーザー数は順調に増加しています。サイトからの問い合わせも少しずつ入るようになっていきます。</p> <p>令和6年度は、生涯学習に親しみのない人にも生涯学習の楽しさ、良さを伝えるため、学習や活動を実践している人・団体等の事例を拡充するほか、サイト自体の認知度向上に向けた取り組みを継続します。</p>

重点的取組

3 地域の学びを支える施設や事業の拡充	
内容	<p>社会の変化に対応した多様な学びの機会を提供するため、講座内容を充実・体系化するとともに、事業自体の認知度を向上させる取組を進めます。</p> <p>学びに係る区民のニーズ等を集約・分析し、改善につなげる仕組み及び相談・コーディネート機能のあり方についても検討します。</p> <p>また、施設間の情報共有や連携を強化し、学習や活動の拠点となる生涯学習に関連する施設の機能・役割をわかりやすく示すことにより、区民が身近な場所で学習したり、活動したりしやすい環境を整備します。</p>
重点事業	<p>1-1-③ おおた区民大学等生涯学習事業の拡充</p> <p>3-2-② 学びに関する相談対応機能の充実</p> <p>3-3-① 区民に身近な施設を活用した生涯学習の推進</p> <p>3-3-② 生涯学習センター・コーナー機能の拡充</p>
定性評価・今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ● 「おおた生涯学習推進プラン推進会議」において「学びに関する相談対応機能の充実」「区民に身近な施設を活用した生涯学習の推進」「生涯学習センター・コーナー機能の拡充」を総合的に、「地域の学びの場のあり方」として検討しています。モデルケースとして文化センター、図書館、生涯学習センターでの取組を検討することとし、令和5年度は、地域の学びの場の基本的役割、各施設で重点的に担う機能について整理をしました。令和6年度は、各施設での具体的取組などについてまとめていきます。 ● 「区民に身近な施設を活用した生涯学習の推進」の試行的な取組として、社会教育指導員が文化センターを定期的に訪問し、講座や相談会を実施しています。その文化センターで活動する団体の状況を把握したり、相談を受けたりしています。この取組の結果、これまで文化センターを知らなかった区民の来館や団体への新規加入につながっています。